



# いばらき県議会だより

臨時号

県議会のホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>  
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会  
〒310-8555 水戸市笠原町978番6  
Tel. (029) 301-5646

## 平成23年1月県議会臨時会の概要

昨年12月実施の一般選挙後、初の議会である平成23年1月県議会臨時会は、1月18日から21日までの4日間の会期で開かれました。

この臨時会では、議長、副議長の選出や、常任委員の選任などが行われました(第2面に掲載)。また、知事から地域活性化対策や社会資本の整備などを中心に、特別会計、企業会計を含めた総額348億円の補正予算などが提案されました。19日の本会議で、各会派代表による質疑が、20日は常任委員会が開催され、21日に、日本共産党の大内久美子議員による討論の後、原案どおり可決され閉会しました。

**佐藤光雄議員(民主)**  
雇用情勢は依然として厳しいが、雇用創出等基金を活用し、今後どのように進めていくのか。  
**知事** 研修・雇用一体型事業の充実などを図り、

**江田隆記議員(自民)**  
境特別支援学校(仮称)の整備と特色ある学校づくりは。  
**教育長** 平成二十四年四月の開校に向け改修工事等を行う。職業教育の充

**細谷典幸議員(自民)**  
中央児童相談所と一時保護所の一体的な整備により、児童や家庭の支援体制をどう強化していくのか。  
**知事** 相談に的確に対応できる環境整備や入所児童に対する支援の充実を図るとともに、相互の連携強化による職員の技術向上の成果等を波及させ、県内全体の児童相談機能の向上を図る。

**田村けい子議員(公明)**  
子宮頸(けい)がん予防にはワクチン接種と予防検診が重要。健康教育の強化と正しい情報提供を。  
**知事** ワクチン接種の奨励とがん検診受診の必要性など、啓発、広報活動に積極的に取り組む。

## 本会議の質疑から

実を含め、地域に根ざした学校づくりに取り組む。

**梶岡博樹議員(みんな)**  
子宮頸(けい)がんワクチン予防接種の公費助成継続のためどうすべきか。  
**知事** 予防接種法の定期接種に位置付けることが望ましいため、国に対して働きかけていく。

### ●質疑者

- 細谷 典幸 (いばらき自民党)
- 佐藤 光雄 (民主 党)
- 田村けい子 (公明 党)
- 江田 隆記 (自民 党)
- 梶岡 博樹 (みんなの 党)

## 常任委員会の審議から

**環境商工委員会**  
県民文化センターの施設整備状況及び今後の整備・耐震化方針、新しい公共事業でのNPOなどへの支援、雇用創出等基金の活用などについて質疑応答が行われました。

**保健福祉委員会**  
阿見東部工業団地・江戸崎工業団地での企業誘致活動、子宮頸(けい)がんワクチン接種の助成に対する県の考え、健やか子ども基金を活用した待機児童解消方策などについて質疑応答が行われました。

**総務企画委員会**  
県の広報戦略の強化に関することや、つくばエクスプレス沿線開発とオオタカ保護との関係、茨城空港における貨物便就航の可能性などについて質疑応答が行われました。

**農林水産委員会**  
茨城県フラワーパークの利用促進策や、効果的な国補助金事業への取り組み、新茨城農業改革大綱の策定状況などについて質疑応答が行われました。

**土木委員会**  
国の緊急総合経済対策に伴い増額する道路橋りょう改築費や河川改修費など、約百十億六千六百万円の一般会計補正予算などの審査が行われました。

**文教治安委員会**  
県立高校における施設・設備の整備充実、地域活性化交付金を活用した体育施設の整備、殺人・強盗などの重要犯罪に対する捜査の強化と適正捜査などについて質疑応答が行われました。

## 正副議長就任あいさつ



いばらきの  
新時代を創る県議会

茨城県議会議長 田山 東湖

去る一月十八日の臨時会において、第百二代議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、改めてその責任の重大さを痛感しております。さて、本県では、今日の厳しい経済・雇用情勢に鑑み、道路・橋りょうなど社会的基盤の整備に係る投資を通じた県内企業の支援強化や、強力な企業誘致運動を展開し、

景気・雇用対策に取り組みが必要があります。また、次世代のために、茨城空港や茨城港及び鹿島港、北関東自動車道など、陸・海・空の交通ネットワークによる広域連携と交流を促進し、県内全ての産業、全ての地域の発展にあまねく結びつけ、均衡ある発展と地域の活性化を図らなければなりません。

このため、県議会として、この新時代を創る県議会をモットーに、本県の明るい未来づくりに、飯塚副議長ともども全力を傾注してまいります。県民の皆様、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。



県勢発展のため  
円滑な議会運営を

茨城県議会副議長 飯塚 秋男

先の臨時会におきまして第百四代副議長に就任し、その職責の重さに、身の引き締まる思いであります。少子高齢化が進展し、人口減少により社会構造が急激に変化する中、安心して子どもを生み育て、医療や福祉サービスを受けられる生活大県を実現するためには、医師確保や医療の充実、生涯を通

じた健康づくり対策を進める必要があります。また、交通事故や凶悪事件を防止し、治安の確保を図らなければなりません。県財政の危機的な状況が続く中で、県民の皆様が求める施策を実現していくためには、非効率な事務事業の見直しを徹底するなどの行財政改革を推進することにより、確

固たる行財政基盤の構築に取り組んでいく必要があります。このような中で、県議会の役割は今後ますます重要になってくるものと考えております。田山議長を補佐し、県勢発展のため円滑な議会運営に努めてまいりますので、県民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。